

19. 定款委員会

委員長 渡 邊 昌 彦

理事会からの諮問を受け、定款施行細則および施行規定変更案、ならびに委員会内規の新設案（32～33頁）を作成し答申したところ、決議された。そこで、社員総会にも上程するので、決議をお願いしたい。

20. 財務委員会

委員長 澤 芳 樹

1. 平成 30 年度予算を作成するに当たり、謝金額を以下の通り見直すこととした。

- 卒後/生涯教育セミナーの司会：3 万円→1 万円（会員）
- ビデオライブラリー作成費（標準手術シリーズ）：20 万円→10 万円
- ビデオライブラリー作成費（最新手術シリーズ）：10 万円→5 万円
- 邦文誌の執筆料：一律で会員は無料、非会員は 3 万円
- 臨床研究セミナーの挨拶・司会・コメンテーター・特別発言：3 万円→1 万円（会員）
- 研究奨励賞：50 万円→20 万円

見直しを行った上で理事会に答申したところ、答申どおりに決議されたので、平成 30 年 2 月 1 日からその予算に沿って業務を執行している（資料別添）。

なお、本学会のシステム委託会社の見直しを開始し、邦文誌・英文誌の経費削減に努めるなど、当年度よりも支出の抑制に成功しているが、本学会の財政が厳しい状況は続いているため、抜本的な費用削減策に取り組むと共に、何らかの収益事業を検討することが喫緊の課題である旨を改めて確認した。

2. 平成 29 年度財務諸表を作成し、独立監査人である新日本有限責任監査法人と本会監事の監査を経て理事会に答申したところ、答申どおりに決議されたので、定時社員総会に上程する（資料別添）。
3. 平成 29 年度公益目的支出計画実施報告書を作成し、理事会に答申したところ、答申どおりに決議された。

21. 情報・広報委員会

委員長 田 口 智 章

1. 会員向けオンラインサービスについて

現在、会員向けオンラインサービスの登録者数は全会員 39,945 名のうち約 33,200 名である。

会員情報検索・修正システム、外科専門医システム、学術集会参加履歴登録システム、各種申請システムなどを運用・管理している。

本年度も引き続き新専門医制度対応のためシステムの構築を行い、次年度以降も随時対応する予定である。

2. 会員向けオンラインサービスの見直しについて

システムの開発費、保守費、さらに5年毎の更改費が高額であるとの指摘を受け、委託業者の見直しに着手している。

見直しにあたっては専門家によるアドバイスが不可欠なので、アドバイザリーボードを設定することとし、黒田知宏教授（京都大学医療情報部）、赤澤宏平教授（新潟大学医療情報部）、中島直樹教授（九州大学メディカル・インフォメーションセンター）に就任いただいた。

アドバイザリーボードから、専門医制度に関するシステムは本会独自で設計・構築したもので、他に代替がなく、現時点で業者を変更することには大きなリスクが伴うと想定されるが、それ以外の会員管理や演題登録などのシステムは、どの学会でも使用している汎用性の高い内容で、いくらでも切替が可能なので、まずは専門医制度以外のシステムの業者見直しを行ってはどうか、また、業者選考にあたっては、政府調達における競争入札の進め方に順ずることが望ましい旨が助言されたので、この助言を本会の方針として、平成30年度末を目途に、まずは会員管理システムから委託会社の見直しを進めることとした。

また、企業への資料提供招請依頼書の作成や、実務面をサポートしてもらうために専門業者とのコンサルティング契約が必要との指導もあったので、後の競合入札には参加しないことを条件として、フューチャー・アイ社とで契約を締結した。なお、企業への資料提供招請は5月頃までには行う予定である。

3. ハードウェア機器の保守契約について

ハードウェア機器が5年毎の更改の時期であったが、システム委託会社の見直しを控えているので、更改自体は見送り、現在のNTT レゾナント社と使用中のハードウェア機器に関する保守契約を1年間更新することとした。

4. 指定難病制度の普及・啓発について

理事会決議事項に従い、本学会に関連する指定難病の各疾患別研究班のホームページのリンク集 (<http://www.jssoc.or.jp/other/info/nanbyou2017.html>) を作成した。

5. 周知依頼の件

小野薬品工業社から「オプジーボ点滴静注 20mg・100mg 適正使用のお願い」の周知が依頼されたので、ホームページに掲載した (<http://www.jssoc.or.jp/other/info/info20171130.html>)。

22. NCD 連絡委員会

委員長 森 正 樹

- 1) 従来どおり NCD の事業に参画すると共に、NCD 設立時などに供出した基金（出資金）が返還可能となるように、NCD に定款を変更するように申し入れた。
- 2) NCD の更なる発展に寄与するため、積極的に NCD に研究案件を持ち込むように検討することとした。これに伴い、日本消化器外科学会の「消化器外科データベース関連学会協議会」にも参加することとした。なお、日本ヘルニア学会から鼠径ヘルニア手術項目の構築について要望を受けていたが、「消化器外科データベース関連学会協議会」で対応してもらうこととした。
- 3) 平成30年1月1日付で NCD 術式の改定が行われたので、従来どおり専門医制度委員会に「外科専門医修練カリキュラム」との紐付け作業を依頼した。

1) 一般社団法人 National Clinical Database (NCD)

代表理事 岩 中 督

National Clinical Database（以下 NCD）は、2010 年に設立され、2011 年 1 月の症例から登録を開始し、事業を開始して 7 年が経過した。2015 年度より、登録を行っている施設会員から会費の支払いをお願いしている。2018 年度からは、未納期間が合計 2 年間（連続・不連続問わず）の施設は、「NCD 施設会員資格」を喪失し、外科専門医制度において基幹施設又は連携施設になれないほか、個人医師による専門医申請の際に当該施設で実施された全症例（2011 年～現在まで）のデータが利用することができなくなる。

外科学会関連で登録された症例数は、2011 年 1,172,576 件、2012 年 1,278,994 件、2013 年 1,567,165 件、2014 年 1,626,645 件、2015 年 1,717,816 件、2016 年 1,784,259 件、合計 9,147,455 件であった。2017 年分のデータ登録を 2018 年 4 月 11 日で締め切る予定である。2018 年 3 月 1 日時点で過去に完了承認済みを 1 件以上登録した施設診療科数は、4,527 施設・7,849 診療科であり、総ユーザー数は 38,131 人であった。

2017 年度事業報告（案）及び公的研究費一覧、データ利用研究一覧、2018 年度事業計画については、次頁以降を参照のこと。

一般社団法人 National Clinical Database
2017 年度事業報告書（案）

National Clinical Database（以下 **NCD**）は臨床現場の医療情報を体系的に把握し、医療の質の向上に資する分析を行う。その結果を以て一般市民に最善の医療を提供し、適正な医療水準を維持することを目的とする。本年度は、以下の社会事業を実施した。

（１）医療情報を集積したデータベースの維持管理及び提供について

- データ入力仕様の要望を各学会より受け付けその改訂を行い、収集データの改善を図った。
- ソフトウェア品質を確保しながら効率的な開発及び標準的な業務手順を検証し、文書化を進めた。
- 登録症例データを利用した集計・分析結果を確認できるフィードバック機能において、性能改善の充実に図った。
- 追跡調査（フォローアップ）の補助機能を開発し、入力率向上に寄与した。
- **DPC**・レセプトデータを利用し、医療の質・効率性の評価・分析研究に着手した。

（２）データベースを活用した医療水準の評価及び臨床研究の支援について

- 日本泌尿器科学会の参画に伴い、症例登録システムの開発及びテスト運用を行った。
- 日本形成外科学会の参画に伴い、症例登録システムの開発及び運用を行った。また、日本形成外科学会が独自に運用していた旧データベースから、**NCD** データベースへ症例データをまとめて登録できるアップロード機能を構築し、臨床現場での症例登録の負担を軽減した。
- 日本病理学会において、剖検報データベースを運用し、過去データを **NCD** へ移管した。また、自施設データダウンロード機能を実装した。
- 日本再生医療学会において、再生医療等臨床研究データシステムの運用設計を行った。
- **NCD** データダウンロード（自施設データ利用）を試行し、自施設における医療品質の評価と改善に用いられた。
- 各領域の研究プロジェクト、学術調査、アニュアルレポートの作成を通じて臨床的検討に寄与した。
- 一部領域で、オーディット結果管理のシステム化を支援した。
- 外部システム（電カル等）から **NCD** 症例アップロード機能を搭載するための可能性を検証した。

（３）データベースの運用による関連団体との業務連携について

- 学会専門医制度等と連携した各種申請システムの維持管理及び開発を行った。
- 学術団体向けの **DB** 初期開発に関するガイダンス及び **Q&A** 事項を共有した。
- 医療機器等の製造販売後調査に伴い、症例登録システムの開発・運用の連携を行った。
- 各領域の学術総会等を通じ、関係各所での情報連携に努めた。

（４）法人の目的を達成するために必要な関連事業ならびに業務について

- 経理業務（**AMED** 案件を含む）、施設会費の問い合わせ業務、会員登録に伴う業務。
- **NCD** の業務から派生する知的財産の管理、情報セキュリティ対策、法・倫理的課題の解決。
- 「**NCD** セミナー 2017」を開催。開催後に発表内容の有料動画配信を整備した。

以上

2017年度 NCD公的研究費一覧

(1)AMED

	委託者	監修	内容	委託期間
1	大阪府立急性期・総合医療センター	後藤満一先生	医療の質の向上及び効率化に向けた、肝移植手術におけるリスクモデルの作成とエビデンスの創設	2017/4/1～2018/3/31
2	一般社団法人 日本病理学会	深山正久先生	AI等の利活用を見据えた病理組織デジタル画像(WSI)の収集基盤整備と病理支援システム開発	2017/4/1～2018/3/31

(2)厚労科研

	委託者	監修	内容	委託期間
1	大阪大学	森正樹先生	臓器がん登録のフォローアップデータ入力促進システムの構築支援 (札幌医科大学/平田公一「全国がん登録と連携した臓器がん登録による大規模コホート研究の推進及び高質診療データベースの為のNCD長期予後入力システムの構築に関する研究」の分担研究)	2017/10/12～2017/12/18
2	福島県立医科大学	丸橋繁先生	がんの医療提供体制および医療品質の国際比較:高齢者ががん医療の質向上に向けた医療体制の整備 (丸橋繁/消化器外科領域研究課題「NCD消化器外科領域とACS-NSQIPとの国際連携による外科医療の質向上に向けた医療体制の整備」との整合性を図る)	2017/9～2018/3
3	浜松医科大学	今野弘之先生	「質の高い消化器がん診療の均てん化を目指した、専門医制度の評価・育成プログラム構築システムの開発」におけるNCDデータ解析と専門医制度前向き評価プログラムの開発	2017/11～2018/3

(3)文部科研

	委託者	監修	内容	委託期間
1	東海大学	徳田裕先生	「全国乳癌登録ビッグデータによるがん治療の均てん化と予後予測ツールの開発」についての研究支援業務(平成29年度研究計画分)	2017/10/23～2017/12/31

(4)JST

	委託者	監修	内容	委託期間
1	慶應義塾大学	宮田裕章先生	殿町リサーチコンプレックスにおける医療保険ICT基盤構築関わる支援業務委託	2017/4/1～2018/3/31

(5)厚労省臨床効果DB整備事業(H29医療施設運営費補助金)

	主体	監修	内容	委託期間
1	NCD	岩中督先生	「臓器別癌登録データベース基盤の構築(胃癌、腎癌、前立腺癌等)」	2017/8～2018/3

■心臓血管外科・CVIT領域：研究プロジェクト 成果物一覧

申請年	申請団体	研究内容	学会発表	論文	その他データ利用
2014年	JCVSD-先天性 (前向き調査)	HLHS予後調査	Long-term results of bilateral pulmonary artery banding versus primary Norwood procedure Pediatr Cardiol. 2018 Jan;39(1):111-119		
2014年	JCVSD-先天性	ダウン症候群に伴う先天性心疾患に対する外科治療成績	「Current surgical outcomes of congenital heart surgery for patients with Down syndrome: An analysis of the Japan Congenital Cardiovascular Surgery Database」 The Society of Thoracic Surgeons (STS) 53rd Annual Meeting 2017 Jan.2017;Houston, TX	Current Surgical Outcomes of Congenital Heart Surgery for Patients With Down Syndrome in Japan Takaya Hoashi, Norimichi Hirahara, Arata Murakami, Yasutaka Hirata, Hajime Ichikawa, Junjiro Kobayashi, Shinichi Takamoto Circ J. 2017 Sep 12. doi: 10.1253/circj.CJ-17-0483.	
2014年	JCVSD-成人	低左心機能患者におけるOPCABとOn-pump CABGの比較検討	「低左心機能患者におけるオフポンプ冠動脈バイパス術の有用性」 第45回日本心臓血管外科学会学術総会 2015年2月（京都） 「Off-Pump versus On-Pump Coronary Artery Bypass Grafting in Patients With Left Ventricular Dysfunction :Analysis of 918 Matched-Pairs」 American Association for Thoracic Surgery (AATS) 95th Annual Meeting 2015 Apr.2015;Seattle, Washington	Off-pump versus on-pump coronary artery bypass grafting in patients with left ventricular dysfunction. Ueki C, Miyata H, Motomura N, Sakaguchi G, Akimoto T, Takamoto S. J Thorac Cardiovasc Surg. 2016 Apr;151(4):1092-8. doi:10.1016/j.jtcvs.2015.11.023. Epub 2015 Nov 22.	
2014年	JCVSD-成人	大動脈弁温存基置置換術の全国集計	「Remodeling with annuloplasty: simple and effective technique」 第43回日本血管外科学会学術総会 2015年5月（神奈川） 「Aortic valve repair in Japan」 第58回 関西胸部外科学会学術集会2015年6月（岡山）		
2014年	JCVSD-成人	大動脈ステントグラフト挿入後の大動脈解離症例の検討	「Influence of timing on operative results after thoracic endovascular aortic repair for acute type B aortic dissection」 第45回日本血管外科学会学術総会 2016年5月（広島）		

2014年	JCVSD-成人	非僧帽弁手術における心房細動に対する外科的肺静脈隔離術の有効性		Comparison of early outcomes of surgical ablation procedures for atrial fibrillation concomitant to non-mitral cardiac surgery: a Japan Adult Cardiovascular Surgery Database study. Takai H1, Miyata H2, Motomura N2, Sasaki K1, Kuniyara T3, Takamoto S2 Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2017 May 23. doi: 10.1007/s11748-017-0785-x. [Epub ahead of print]	
2014年	JCVSD-成人	胸部大動脈瘤手術における慢性閉塞性肺疾患の影響		Eur J Cardiothorac Surg. 2017 Apr 1;51(4):761-766. doi: 10.1093/ejcts/ezw417. Clinical significance of chronic obstructive pulmonary disease in patients undergoing elective total arch replacement: analysis based on the Japan Adult Cardiovascular Surgery Database. Miyahara S1, Miyata H2, Motomura N3, Takamoto S4, Okita Y1; Japan Cardiovascular Surgery Database Organization.	
2014年	JCVSD-成人	開心術後の大動脈狭窄症に対する大動脈弁置換術の成績および手術リスク因子の検討		Risk model of aortic valve replacement after cardiovascular surgery based on a National Japanese Database. Ohira S, Miyata H, Doi K, Motomura N, Takamoto S, Yaku H. Eur J Cardiothorac Surg. 2017 Feb 1;51(2):347-353. doi: 10.1093/ejcts/ezw247.	
2014年	JCVSD-成人	冠動脈インターベンション既往が冠動脈バイパス手術の周術期成績に与える影響の検討	「DES時代においてPCI既往は冠動脈バイパス手術におけるリスクとなるか？」 第68回日本胸部外科学会定期学術集会 2015年10月（神戸） 「Previous Percutaneous Coronary Intervention Does Not Increase Adverse Events After Coronary Artery Bypass Surgery」 The Society of Thoracic Surgeons (STS) 52nd Annual Meeting Jan.2016; Phoenix, Arizona	Previous Percutaneous Coronary Intervention Does Not Increase Adverse Events After Coronary Artery Bypass Surgery. Ueki C, Miyata H, Motomura N, Sakaguchi G, Akimoto T, Takamoto S. Ann Thorac Surg. 2017 Jul;104(1):56-61. doi: 10.1016/j.athoracsur.2016.10.028. Epub 2017 Jan 25.	

2014年	JCVSD-成人	OFF-PUMP CABGと ON-PUMP CABGの術後早中期成績の比較	「Off-pump versus on-pump coronary artery bypass :A propensity score matched analysis using the Japan Adult Cardiovascular Surgery Database」 29th European Association for Cardio-Thoracic Surgery (EACTS) Annual Meeting Oct.2015;Amsterdam, The Netherlands		
2014年		各慢性腎不全病期におけるオフポンプ冠動脈バイパス術の有用性の検討	「術前腎機能低下,透析症例におけるoff-pump CABGの有用性-JACVSD 68,825例の解析から-」 第46回日本心臓血管外科学会学術総会 2016年2月 (名古屋)		
2015年	JCVSD-成人	本邦におけるホモグラフト使用状況調査			保険収載 2016/04月
2015年	JCVSD-成人	医療機器の市販後における使用成績評価の質及び信頼性の確保のための要件等に関する研究 (厚生労働科学研究委託業務)	「Assessing Real-World Use and Outcomes of Newly Marketed Bioprosthetic Aortic Valves using Nationwide Cardiovascular Surgical Registry in Japan」 32nd International Conference on Pharmacoepidemiology and Therapeutic Risk Management Aug.2016;Dublin, Ireland		
2015年	JCVSD-成人	心臓血管外科手術における出血量の予測因子について		Evaluating the Effect on Mortality of a No-Tranexamic acid (TXA) Policy for Cardiovascular Surgery. Maeda T, Ishihara T, Miyata S, Yamashita K, Sasaki H, Kobayashi J, Ohnishi Y, Nishimura K, Shintani A, Iso H. J Cardiothorac Vasc Anesth. 2017 Oct 13. pii: S1053-0770(17)30802-9. doi: 10.1053/j.jvca.2017.10.018.	
2015年	JCVSD-成人	Impact of Body Mass Index and Albumin on Morbidity and Mortality after Cardiac Cardiac Surgery in Geriatric Patients	「心臓血管外科手術におけるデータベース活用: 我が国の特性を活かした解析計画とは?」 第30回日本冠疾患学会学術集会 2016年12月 (東京)	「The Impact of Body Mass Index on Early Mortality and Morbidity After Coronary Artery Bypass Grafting in Elderly Patients: Emaciation Versus Obesity — Which is Worse? —」 American Heart Association (AHA) 2017 Nov.2017;Anaheim, California	
2015年	JCVSD-成人	急性肺塞栓症に対する外科治療の日本の現況	第47回日本心臓血管外科学会学術総会 2017年2月 (東京)		

2015年	JCVSD-先天性 (前向き調査)	単心室における房室弁置換術の 遠隔期成績の検討	「Mid-term result of atrio- ventricular valve replacement in patients with single ventricle」 31st European Association for Cardio-Thoracic Surgery (EACTS) Annual Meeting, Oct.2017;Vienna, Austria		
2016年	C_JCVSD-成人	心室中隔欠損症に対して広く行わ れている外科的閉鎖術に際して、 低体重の術後経過への影響を検討 する		宮田心臓病研究振興基金「医学研究者の 学究等に対する奨励金」	
2016年	JCVSD-成人	心筋梗塞後心室中隔穿孔の周術期 成績の検討	第47回日本心臓血管外科学会学術 総会 2017年2月 (東京)		
2016年	JCVSD-成人	Surveillance of AF Surgery in Asia-Pacific Region	「AF surgery surveillance 2015 Japan」 9th Asia Pacific Heart Rhythm Society Scientific Session 2016 Oct.2016 ,Seoul		
2016年	JCVSD-成人	複合手術における労力、診療報酬 に対する検討：3領域と2領域との 比較検討			診療報酬改定資料
2017年	JCVSD-成人	右小開胸僧帽弁手術の有用性およ び安全性の検討 ～本邦におけるリスクファクター の解析～	「Usefulness of risk calculator for minimally invasive mitral valve surgery in Japan」 第70回日本胸部外科学術総会演題 登録 2017年10月 (岡山)		
2013- 14年	JCVSD	本邦における2013、2014年の心臓 血管外科手術の現状：日本心臓血 管外科手術データベース (JCVSD) からの報告		本邦における2013、2014年の心臓血管外 科手術の現状：日本心臓血管外科手術 データベース (JCVSD) からの報告 日本心臓血管外科学会雑誌 Vol.46,No.5 Septmeber2017 P187- 211 Current status of cardiovascular surgery in Japan,2013 and 2014: A report based on the Japan Cardiovascular Surgery Database(JCVSD) General Thoracic and Cardiovascular Surgery January 2018, Volume 66, Issue 1, pp 1- 3	
2015	CVIT(J-PCI)	日本におけるロータブレード使用 後の重大合併症率とその規定因 子の探索		Circulation: Cardiovascular Interventions Incidence and Determinants of Complications in Rotational Atherectomy Insights From the National Clinical Data (J-PCI Registry)	

2015	CVIT(J-PCI)	Impact of Sex on In-Hospital Clinical Outcomes in Patients with Non-ST-Elevation Acute Coronary Syndromes Undergoing Percutaneous Coronary Intervention: A Report from the Japanese National Coronary Intervention Registry		Am J Cardiol. 2017 Mar 15;119(6):826-831. doi: 10.1016/j.amjcard.2016.11.034. Epub 2016 Dec 18. Comparison of Outcomes of Women Versus Men With Non-ST-elevation Acute Coronary Syndromes Undergoing Percutaneous Coronary Intervention (from the Japanese Nationwide Registry).	
2015	CVIT(J-PCI)	ST上昇型急性心筋梗塞に対する冠動脈インターベンション（Primary PCI）での橈骨動脈アプローチと大腿動脈アプローチの成績の比較		The American Journal of cardiology March 15, 2017Volume 119, Issue 6, Pages 872-880 Relation of ST-Segment Elevation Myocardial Infarction to Daily Ambient Temperature and Air Pollutant Levels in a Japanese Nationwide Percutaneous Coronary Intervention Registry	